

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		HOPE神田			第三者評価受審年度	令和5年度 (以下は直近令和2年度受審結果に基づく)
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和3年度)	改善計画 (令和4年度末時点)	実施状況 (令和5年度末時点)	実施状況 (令和5年度末時点)		
事業継続計画(BCP)のアップデートについて	災害面では社会情勢も起因して感染や防災に関するリスク洗い出しや対策の見直しが進んだ。経営面では人材採用(増員)や配置転換等によって、複数の職域に対応できる体制づくりを開始した。	感染症BCPをモデルBCPも参考にしてアップデートする。「防災対策」と「感染症対策」でBCPを分けて管理する。その他経営上のリスクマネジメントについて(システム障害等)も継続して対策マニュアル化に取り組んでいく。	厚労省モデルBCPを参考に感染症に関するBCPをアップデートし、職員研修において共有した。また、業務継続に関する事業所内訓練においても、システム障害発生時のシミュレーションを行った。継続的な研修・訓練を今後も実施していく。			
職員の学習項目の明確化と機会の確保について	Eラーニングを導入して新人教育等に活用した。既存職員の活用には運用上の課題が残る。定期面談で学習項目の確認も図り、職員の資格取得も進んだ。ベテラン職員は異なる職域の外部研修も行った。	キャリアパスのアップデートを行い、職域やパスに応じて求められるスキルや研修などを明確にすることを検討している。研修は通年で積極的に受講しているため、研修効果を高めたり自己学習できる環境を整備したりと環境面での工夫点を探る。	研修計画に基づき、今年度も職業センターや東京都研修に積極的に参加し学習機会を設けた。職場適応援助者研修にも1名受講。次年度以降で他職員の受講も計画している。事業所内の研修会の増設も計画している。			
業務体制見直しと情報資産の活用について	業務体制の見直しや施策推進を目的とした人員採用(非常勤職員)と配置転換を9～10月に実施した。顧客管理システムへの企業情報入力は進んでいるが抜本的改善には至っていない	業務体制の見直しについては凡その目的を達成した。今後も事業計画や毎月の職員体制見直しのフローを継続し、柔軟に動ける組織を目指す。情報資産の活用については上記2つの取り組みを優先しつつ、システム入力項目の見直しを検討していく。	ご利用者への支援により注力できるように事業所の業務内容の見直しを実施し検証を繰り返している。情報資産の活用のためにシステムをアップグレードして運用開始の準備を進めている。			

※この様式は、「千代田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。